

「経済・財政再生計画 改革工程表」の進捗状況について

②民間資金の導入促進

iv マッチングプランナー制度の活用推進

①これまでの進捗状況

- 地域の企業ニーズと、全国の技術シーズをマッチングプランナーが結びつけることを通じて、企業と大学との共同研究から事業化までの展開を支援することで、地域科学技術イノベーションの創出とともに、地域における企業の「稼ぐ力」の向上によるローカル・アベノミクス実現の寄与に向けて、平成27年4月にマッチングプランナープログラムを開始。
- マッチングプランナープログラムにおける採択件数は平成27年度・28年度において621課題であり、KPI（共同研究件数）の達成に向けて現在実施中。

	採択件数（応募件数）	実施期間
第1回採択	260課題（1,133課題）	H27.10.1～H28.9.30
第2回採択	106課題（308課題）	H28.1.1～H28.12.31
第3回採択	255課題（647課題）	H28.6.1～H29.3.31
合計	621課題（2,088課題）	

※ 現在、全採択案件が事業実施中。

②今後の進展について

- 第1回採択分実施期間満了（平成28年9月末）以降、順次事後評価を実施し、KPIの達成度合を確認するとともに、次の研究フェーズに進むための十分な成果が得られた課題については、継続的フォローアップを実施予定。
- 平成29年度概算要求においては、マッチングプランナープログラムに係る予算（別添タイプA）について、前年同額を要求中。
- 本制度で創出された成果を含め、次のステージにおける支援メニュー（別添タイプB）を創設。

地域産学バリュープログラム (旧: マッチングプランナープログラム)

平成29年度要求・要望額 : 1,563百万円
 うち優先課題推進枠要望額 : 700百万円 ※運営費交付金中の推計額
 (平成28年度予算額 : 863百万円)

概要

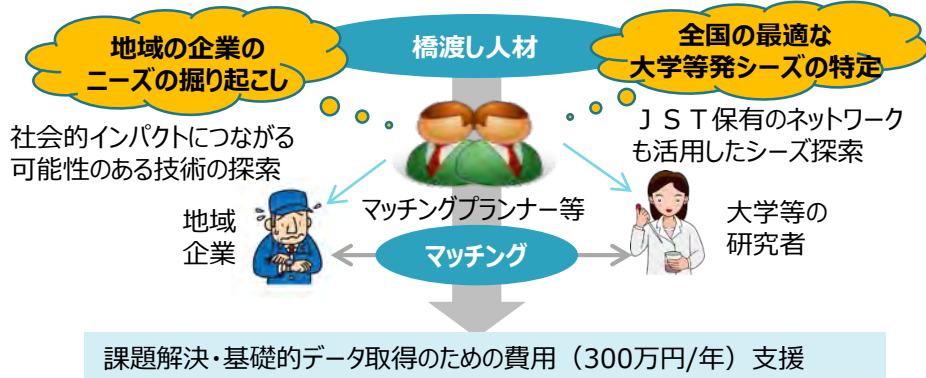
JSTのネットワークを活用して、全国の大学等発シーズと地域の企業ニーズとを、マッチングプランナーなどの橋渡し人材が結びつけ、共同研究から事業化に係る展開を支援することで、企業ニーズの解決にも資するコア技術を創出するとともに、マッチングによる成果も含め、次の段階で民間資金を誘引するために、スケールアップに向けた概念実証を進める。

科学技術イノベーション総合戦略2016 (平成28年6月2日閣議決定)

中小企業のニーズを掘り起こし、大学等の知的財産や技術シーズとのマッチングを進めるとともに、大学や企業等が保有する知的財産の利活用を促進する。

マッチングの仕組み

- 地域企業のニーズと全国の大学等のシーズを、マッチングプランナーが広域のネットワークを生かし、最適なマッチングを行う。
- マッチングされたプロジェクトについては、審査を踏まえ事業化に向けた初期的費用を支援。



支援実績と成果例

事業を開始した平成27年度から、平成28年度までに621件を採択。
 ※事業期間は最長1年間。

	採択回	応募件数	採択件数
第1回		1,133件	260件
第2回		308件	106件
第3回		647件	255件

(例) 脳深部用極微細内視鏡イメージングシステムの開発 (東北大学)

従来大型・高価だった脳内イメージング装置について、大学の有する脳内イメージングシステムを企業と共同で機器間の結合効率を向上させることで、安価・小型化を達成。可搬性の付与により、検査範囲も拡大。

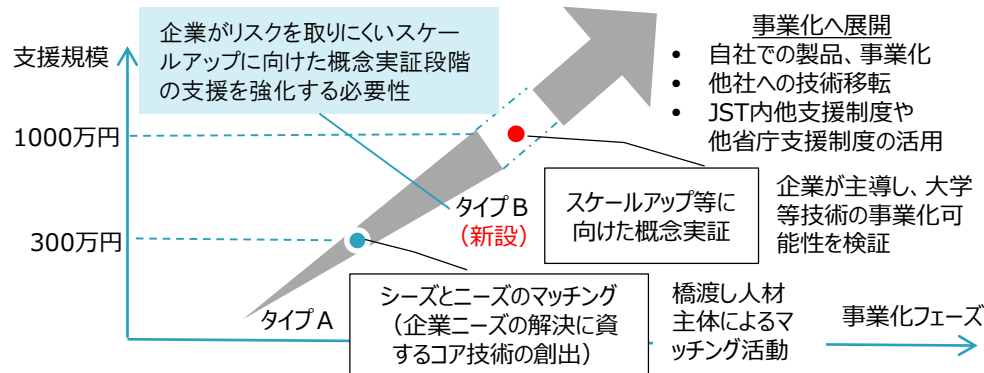


試作品製作まで達成。今後は、**量産化に向けた試作機の検証を行う実証段階へ。**

現在の課題と支援の方向性

- 企業ニーズの解決に資するコア技術の創出後に、量産に向けラボスケールからベンチスケールでの検証(スケールアップ)や、エンジニアリングデータの取得、他の用途展開等に向けた開発が必要。
- このスケールアップ等に向けた概念実証段階は、そもそものデータ不足等のため企業等が開発リスクを取っていくことが難しい段階。

支援タイプ (概念実証に向けた支援プログラムの強化)



	タイプA	タイプB (新設)
目的	企業ニーズの解決にも資するコア技術の創出 (地域企業のニーズと全国の大学等シーズとの最適マッチング)	技術的実現性の提示による、スケールアップに向けた概念実証 (性能等の検証、試作品の開発等の概念実証試験を対象)
申請要件	橋渡し人材等の支援のもと課題を提案	企業と大学等が共同で事業化につながる課題を提案
件数	140件程度	70件程度
金額	300万円程度/1年度	1,000万円程度/1年度
支援対象	大学等	企業及び大学等